

第 54 回 Clayteam セミナー (案)

(最新) 材料の構造と機能発現

日時 2026 年 2 月 6 日 (金) 13:30 ~ 17:00

形態 東北大学 / Microsoft Teams ハイブリッド開催

主催 一般社団法人 Clayteam 共催 東北大学

参加料 Clayteam 会員、協賛団体会員 無料、非会員 一般 1 万円、学生 5000 円

Clayteam ではこれまで、微細構造を有する機能材料の開発を産学官の連携により推進してきました。これらの材料は種々の製造技術によってもたらされ、さらに種々の評価技術によってその微細構造が解析されますが、その特徴的な微細構造と機能発現の関係を研究することは、材料に対する深い理解を得るとともに、この知識と理論を材料設計に積極的に生かすことができます。今回のセミナーでは、材料開発に強みを持つ学術研究機関より、種々の材料に対する、製造技術・構造解析・機能発現に関するお話をいただき、産学連携による新たな材料開発を展望する機会とします。

[プログラム] (敬称略)

13:30-13:35 開会挨拶

13:35-14:25 「高密度水素化物の材料科学

- 新学術領域ハイドロジェノミクスへの展開 (仮)」

◆折茂 慎一 東北大学 材料科学高等研究所 (WPI-AIMR) 所長

14:25-15:05 「混錬法による高性能複合材料 - 改質リグニンの利用も含めて - (仮)」

◆田村 堅志 物質・材料研究機構 電子・光機能材料研究センター
機能材料分野 資源循環材料グループ グループリーダー

15:05-15:15 休憩

15:15-15:55 「ナノテラスを活用したハイブリッドナノ材料の階層構造ダイナミクス研究 (仮)」

◆西堀麻衣子 東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター
基幹研究部門 階層的計測スマートラボ 教授

15:55-16:25 「ナノ構造体による機能性部材開発 (仮)」

◆栗原 一真 産業技術総合研究所 エレクトロニクス・製造領域 製造基盤
技術研究部門 研究主幹

16:25-16:55 「リグニンや粘土を用いた機能性複合素材および物性・耐久性評価技術の開発 (仮)」

◆渡部 愛理 産業技術総合研究所 材料・化学領域 化学プロセス研究部門
高分子機能応用研究グループ 主任研究員

16:55-17:00 閉会挨拶

一般社団法人 Clayteam 事務局

e-mail: clayteam-post@as.bunken.co.jp

TEL: 03-6824-9301

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

